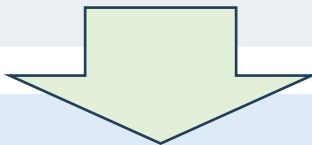


令和6年産の気象概況

- ・気温…平年よりも高く推移した。特に7月から8月の期間は最高気温が40度近くまで上がるなど、高温となった。
- ・降水量…7月末以降、降水量が減少し、一部の地域では水不足となった。



これらの影響で…

- ・高温により雑草が例年より早く生育した。
- ・中後期除草剤の散布タイミングがなかった。
- ・湛水状態を維持できない圃場が一部あった。



雑草が多発した圃場が多くみられた！

< 雑草を防ぐためのPOINT >

①代かき

浅水で2～3回実施しましょう！

1回目の代かきで発芽した雑草を2回目で除草でき、雑草の発生量を減らすことができます。

また、土壌の凹凸をなくすことで除草剤の効果も高まります。

②水管理

除草剤散布後は、水を動かさない！

土壌に薬剤が吸着し、処理層ができるのは散布3日後からです。

除草剤散布後7日間は落水、入水をしない止水管理としてください。

